

編

集

後

記

「（仮称）南相馬市
子ども・子育て条例」
検討分科会メンバー
から検討分科会に
参加しての感想



事務局：南相馬市こども家庭課
こども企画係



村上 勇一委員長

この条例の意図を子どもたちに少しでも理解してもらえ、子どもたちが大切であること、地域みんなが子どもたちを見守ってくれているということが伝わると良い。



大谷 幸子委員

様々な業種の方が居て、色々な意見を聞くことが出来良かった。今回検討した条例は、子どもにも分かるような文章になっているので、子どもたちにも伝えてほしい。



鈴木 克哉委員

震災後、地域と家庭がつながる子ども会などが少なくなっていました。この条例をきっかけに、今の世代にあった、地域との関わり方を考えていくことが必要だと感じた。



遠藤 充洋委員

今回検討した条例は、条例という内容よりも宣言に近い形。この条例はあくまでスタートであり、この内容に近づけるよう地域が一体となって取り組むことが大事。



井上 真貴委員

検討にあたって、委員のメンバーと意見を出し合い、条例を検討することが出来、良かった。この条例が子どもから子育て世代の方々へ上手く伝えられると良い。



村田 恭一委員

この条例をスタートに、子育て環境がより良くなると良い。子育て世代が相談しやすい環境（ネウボラの制度のような）をぜひ整えてほしい。



中澤 翔平委員

今回メンバーとして参加し、グループディスカッションのような双方向に意見を交わす機会は少ないので、とても貴重な経験となった。また、条例の考え方の部分まで携わることができ、とても良かった。



樋口 木乃美委員

この条例がきっかけとなり、子どもたちの笑顔あふれるまちとなり、子育て世代の方々にとっても笑顔で子どもと過ごせるまちになればと良いなと思う。



加藤 あけみ
外部アドバイザー

この条例が子育て世代の方々に伝わり、少しでも応援している気持ちが伝わると良い。この条例をスタートとして、南相馬市の子育て環境が少しでも良くなってほしい。



阿久津 芳夫
外部アドバイザー

自分達が子育てしていた環境と今の子育て環境が違っていることも多く、大変だと感じた。高齢者でもまだ子育て世代の方々の手助けができればと改めて感じる事が出来た。



関場 芳信
外部アドバイザー

この度、検討・協議の場にアドバイザーとして参加し、メンバーの皆さんと共に提案・発想・知恵の結集により素晴らしい素案がまとまり、とても良かった。